

● 本校の道徳教育のねらい（平成24年度）

本校では、昨年度より「道徳の時間を中心にした道徳教育の推進」を研究主題として、授業実践を通じた実践的研究に取り組んでまいりました。

一年次である昨年度は、教師の実践的指導力の向上の図るため、指導方法の改善に視点を設定し、よりよい道徳の時間を目指した授業づくりについての研究を進めてきました。

二年次である本年度は、生徒の実態調査から指導内容の改善に視点を設定するとともに、昨年度の実践を活かしながら、さらなる道徳の時間の授業づくりをすすめて参りました。

学習指導要領では、学校における道徳教育は「道徳の時間を要」として学校の教育活動全体を通じて行うものであると位置づけられました。そのためにも、道徳の時間本来の役割と特質を押さえた授業こそが、生徒の心に響く授業となり、道徳的価値及び人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を確かなものとしてはぐくむ授業と成りえると考えます。そして、この研究成果を検証することにより今後の道徳教育、とりわけ道徳の時間本来の姿及び在り方が見えてくるのではないのでしょうか。

〈校内の研究体制・教員の資質向上について〉

◆道徳推進教員（道徳主任）を中心に各学年の道徳担当と組織的に校内研修、生徒実態把握、公開授業等を進めていく。

- ・ 公開授業を実施するための校内研修の充実と組織的対応を図る。
- ・ 道徳の時間の指導方法において、特に言語活動の充実を図る。
- ・ 振り返りによる活用力を高めるため、道徳ファイル等の作成・活用を定着させる。
- ・ 指導案・教材等の蓄積及び整理に努める。
- ・ 生徒の実態把握のための調査（4・2月）を行う。

〈教科等教育の新しい方向性を踏まえた取組について〉

◆本年度は道徳の時間の指導内容に研究の重点をしぼる。

- ・ 2学期に、校内で授業を公開し、全職員で参加したあと、協議会を開催する。
- ・ 3学期の公開授業にむけ、組織的に指導案検討や授業参観を行っていく。

◆道徳の時間と他の教育活動の関連を積極的に図るとともに、学校環境づくり及び地域活用を取り入れていく。

- ・ 道徳教育全体計画作成
各教科と総合的な学習の時間及び特別活動との関連を図る。
保護者及び地域の人々の意見の活用や関係諸機関との連携を進める。
- ・ 各学年の道徳の時間の計画作成
学年の重点項目や内容項目のバランスに配慮する。
- ・ 道徳的価値に気づかせる掲示物等の工夫と充実

〈研究の蓄積・発信、全市的な研修の場の提供について〉

- ・ 3学期に公開授業及び研究推進状況等を提示することで全市的な研修の場を提供する。
- ・ 研修室内の道徳教育推進コーナーにおいて、指導案、実践事例、教材、活用資料・視聴覚教材等の蓄積に努める。
- ・ 本年度の実践をまとめながら研究の蓄積を行うとともに、その過程を学校ホームページや道徳通信等で発信するとともに、保護者や地域の方々の理解と協力を得るようにする。

● 特徴（平成24年度）

本研究主題の中心であるところの道徳の時間について、教師一人一人がその授業力を高めることが必要です。道徳の授業づくりに求められる力を「生徒理解からの目標設定」「資料の選定・開発と分析」「指導内容の分析」「多様な指導方法」と設定しています。本年度のテーマである指導内容の充実とは、この4つのちからのうち、「生徒理解からの目標設定」「資料の選定・開発と分析」「指導内容の分析」にかかわると考えています。

そこで、生徒理解の意味から、中学校の道徳の24の内容項目について、生徒の道徳意識を調査すると次のような結果が得られました。

あなたが信号機のない横断歩道を渡ろうとして、車が通り過ぎるのを待っていたら、車があなたに気づいて止まってくれました。あなたはこの時に礼などをしますか。

という質問に対して、

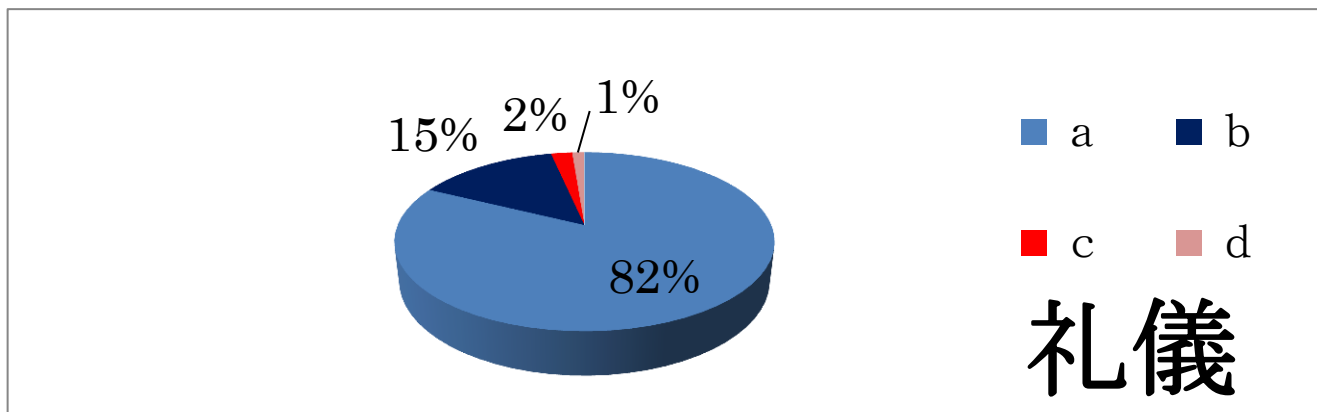
“絶対礼をする”と“たぶん礼をする”をあわせて、礼をすると答えた生徒は、97%。“たぶん礼をしない”と“絶対礼をしない”をあわせて礼をしないと答えた生徒は3%です。

礼儀についての道徳的価値は、多くの生徒が認識していると考えられます。

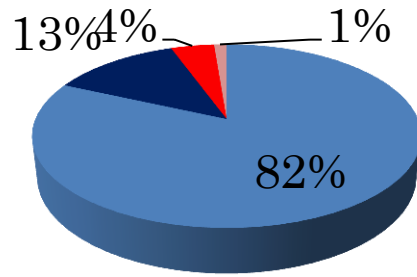
以下、同様な調査を行い次のような結果を得ました。

- ▶ あなたが信号機のない横断歩道を渡ろうとして、車が通り過ぎるのを待っていたら、車があなたに気づいて止まってくれました。あなたはこの時に礼などをしますか。

(a. 絶対礼をする b. たぶん礼をする c. たぶん礼をしない d. 絶対礼をしない)



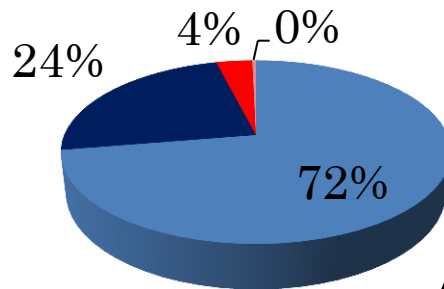
- ▶ どんなに苦しいことつらいことがあっても、自殺はしてはいけないと思いますか。
 (a. 絶対いけない b. たぶんいけない c. しかたない d. してもよい)



■ a ■ b
 ■ c ■ d

生命尊重

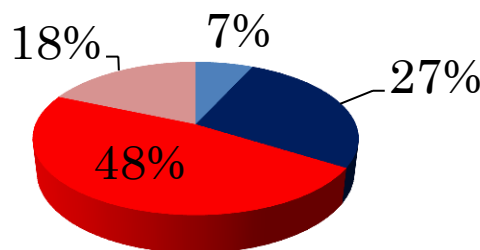
- ▶ すべての人間には良いところがあり、生きる喜びがあると思いますか。
 (a. 絶対ある b. 大部分の人にある c. わずかな人にある d. だれにもない)



■ a ■ b
 ■ c ■ d

生きる喜び

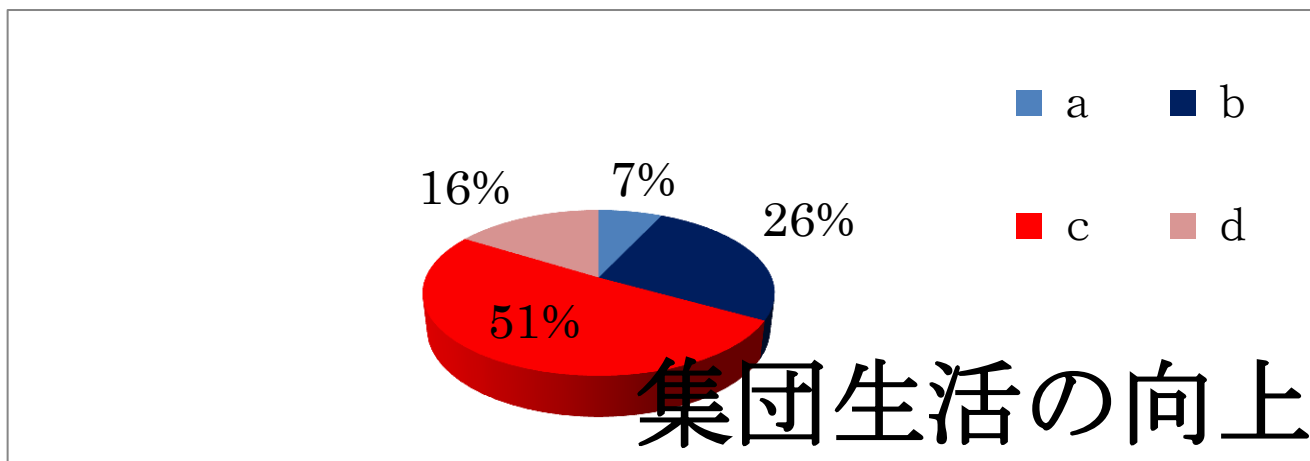
- ▶ あなたは牛乳当番です。昼食後、牛乳を返却しに行っていると、廊下に牛乳がところどころに落ちています。あなたは、ぞうきんで牛乳をふきますか。
 (a. 絶対ふく b. たぶんふく c. たぶんふかない d. 絶対ふかない)



■ a ■ b
 ■ c ■ d

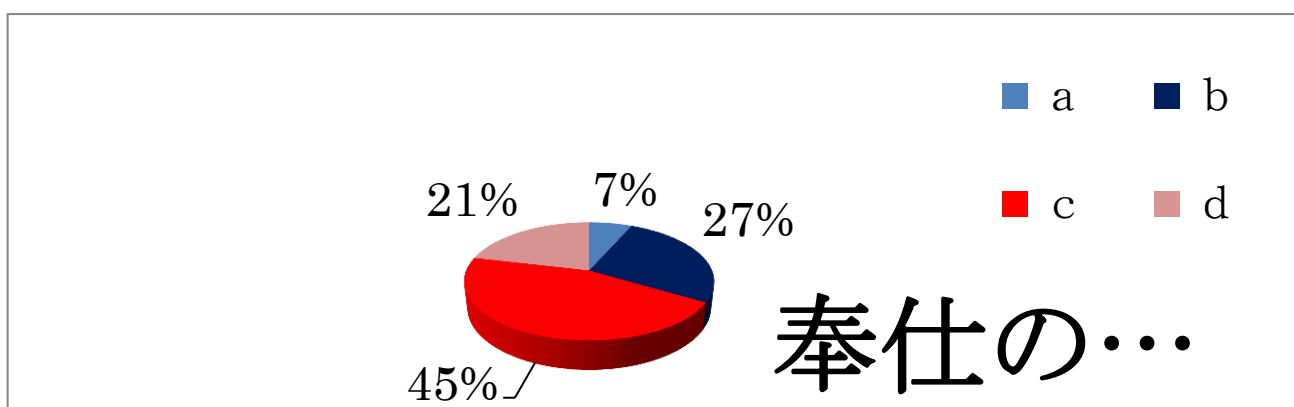
誠実

- ▶ 社会科の自習時間に、課題をしないでおしゃべりばかりしている人がたくさんいます。あなたは、静かに自習するように注意しますか。
 (a. 絶対注意する b. たぶん注意する c. たぶん注意しない d. 絶対注意しない)



▶ 今度の日曜日に、近くの公園の清掃活動があります。強制ではなく自由参加です。あなたは部活などの予定はありません。あなたは参加しますか。

(a.絶対参加する b.たぶん参加する c.たぶん参加しない d.絶対参加しない)



「礼儀」の他、「生命尊重」「生きる喜び」については、約95%の生徒に道徳性が十分養われていると考えられる結果が得られました。

「集団生活の向上」の他、「誠実」「奉仕の精神」については、約34%の生徒しか道徳的価値を自覚できていないようであり、多くの生徒に道徳性が十分養われているとはいいがたいと考えられます。

このような生徒の実態調査を踏まえながら、指導内容の充実を図り、実践的指導力の向上をめざし取組をすすめました。

具体的には、一学期での全職員による本研究の共通理解を図り、二学期には、お二人の先生に授業を公開していただき校内研修を行いました。

そして、研究発表での授業公開に向けて実践・検証を重ねて参りました。

● 研究計画 (平成24年度 2/3)

《1学期》

- ▶ 取組の確認
- ▶ 研究推進への全教員の共通理解及び本年度のテーマについて
- ▶ 生徒実態把握のための調査 5/21…心のアンケートと同時に行う

- 食育（弁当の日 5 / 28）の実施に関連付けた道徳の時間の取組
《夏季休業期間》 職員研修
- 道徳的掲示物（原盤）を全教員が1つ以上、9月上旬に提出する
《2学期》
- 取組の確認
- 総合的な学習（地域清掃活動）の実施に関連付けた道徳の時間の取り組み
一学期後半から二学期前半にかけて、各学年で設定する
- 校内研修会
初任者研修受講者（吉田教諭、市川教諭）の授業（初任者研修指導主事要請授業を兼ねる）を他教師が参観し、全教師で分散・全体協議会をおこなう
《冬季休業期間》 職員研修
- 公開授業に向けての指導案づくり（第1学年 公開授業実施予定者）
《3学期》
- 取り組みの確認
- 公開授業に向けた指導体制の確立とローテーション授業の実施
公開授業の実施・検証
- 研究発表会
- 講演会の実施
※発表会及び講師等については、後日詳細を提案
- 次年度に向けた課題を検証する。

● 具体的活動

・ 校内研修

①教師の共通理解を図る

オンライン事業の概要や本年度の方策などを説明し、全職員で共通理解を図れるようにする。

②授業参観・協議会 11 / 8

他教師の道徳の時間を参観・協議することで、教師一人ひとりが自己の道徳の時間の指導を振り返り、実践的指導力を向上させようとする。特に、実践的指導力における指導内容について研修が深められるようにする。

★吉田先生 主題「集団生活の向上」

内容項目 4—（4）



★市川先生 主題「生命尊重」 内容項目 3－(1)



それぞれの授業を参観した先生が、2グループに分かれて、協議会を行い、その意見を全体会で話し合う。



・公開授業 2 / 6

一年生の全クラスで公開授業を実施した。

学級	主題名	内容項目	資料名	授業者
1－1	秩序ときまり	4－(1)	「二通の手紙」東京書籍	福井恵子
1－2	誠実と責任	1－(3)	「父の一言」あかつき	山下暁生
1－3	誇りある生き方	3－(3)	「ポトマック川の出来事」あかつき	野依克己
1－4	くじけない心	1－(2)	「木箱の中の鉛筆たち」あかつき	藤武千絵
1－5	集団生活の向上	4－(4)	「春のうららの声変わり」光村図書	市川裕美
1－6	よりよい社会の実現	4－(2)	「地下鉄で」あかつき	田中祐介



道徳学習指導本時案

平成24年 2月 6日 (水曜日) 第5校時 場所 1年1組 教室

教諭 福井 恵子

- (1) 主題 秩序ときまり 4-(1)
- (2) 資料 「二通の手紙」(明日をひらく:東京書籍)
- (3) ねらい 秩序と規律ある社会の実現のために社会の一員として自ら課せられた義務を果たしていこうとする意欲を高める。
- (4) テーマ (生徒の実態をふまえた内容項目の工夫)

規則と心情の間で、自己に都合のいい解釈をすることなく、社会の一員としての責任を果たすことの大切さについて気づかせ、自分自身を振り返らせる。

(5) 準備

- 生徒 ・ 筆記用具、道徳ファイル、ネームカード
- 教師 ・ 資料プリント、ワークシート、短冊、発表ボード

(6) 展開

学習活動	指導上の留意点
------	---------

導 入	1 題材を示し、主人公の紹介をする。	○ 資料への興味関心を高める。
展 開	2 規則を破って姉弟を入園させた元さんの行為について考える。	○ 資料前半部を配布し、教師が読む。
	あなたは、規則を破って姉弟を入園させた元さんの行為を支持するか、支持しないか。その理由は何か。	
	・「支持する」「支持しない」の立場とその理由を明確にして意見交流をする。	○ 支持するか支持しないかをネームカードを黒板に貼らせて明確にする。 ○ ワークシートに立場と理由を書かせ、発表させる。
	3 解雇処分を受け入れる元さんの態度について考える。	○ 資料後半部を配布し、教師が読む。
規則を破って入園させたことがどのような結果を招いたか。		
元さんが、解雇通知を受けながら、失望せず、はればれと辞めていくのはどのような考えからか。		
・元さんは二人を入園させたことに後悔はないが、解雇処分を受け入れ、規則を破った自分の責任を果たそうとしていることを理解する。		○ まず自分の考え方をワークシートに書かせる。その後、三、四人組になり、意見交換をさせ、多様な考え方にふれさせる。
終 末	4 自分自身を振り返る。	
元さんの生き方や仲間の考えを聞いて、自分だったら、どうするだろうか。もし、きまりがなかったらどうなるだろうか。		
・学んだことや問題意識など、書くことによって整理する。		○ 発表ボードに記入させ、黒板に貼らせる。

道徳学習指導本時案

平成24年 2月 6日(水曜日) 第5校時 場所 1年 2組 教室

講師 山下 暁生

- (1) 主題 誠実と責任
- (2) 資料 「父の一言」中川志郎 (出典)
- (3) ねらい

責任ある判断をする心情や、結果について最後まで責任を果たそうとする態度を育てる

- (4) テーマ (生徒の実態をふまえた内容項目の工夫)

自分のことしか考えられず、自分の責任ある判断が取れなかったことに対して、父の言葉により、責任

を果たすことの大切さに気づかせる。この指導を通して、日ごろの係活動などを通して、振り返ることができるようになる。

(5) 準備

生徒 … 筆記用具

教師 … パソコン・テレビ・ワークシート

(6) 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 本時のねらいとする価値の方向付けをする 2 自分が、やらなければならない仕事を挙げる。	○ 画像を使い「責任」というキーワードを示し強く印象に残させる。 ○ 上野動物園元園長の中川さんの話であることを簡単に理解させる。 ○ 家庭・学校での役割を、確認させる。
展開	3 資料「お前のカワウソが淋しがっているぞ」を読んで、「私」の気持ちについて話し合う。 ① 汽車に乗り目的なく故郷へ向かう「私」は、心の中でどんな言葉をつぶやいていたかを考え、ワークシートに書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">② 父の言葉が稲妻のように筆者の心を貫いたのはなぜだろう</div> ③ 「私」が流した涙には、どのような思いが込められていたのかを考え、発表する。 4 「責任ある判断」を考え、自分の日常生活を振り返る。 ④ 「私」は、挫折したときに、どのように気持ちを切り替えればよかったのかを班で話し合い、発表する	○ 本時で話し合いたい「私」の気持ちの部分を確認しながら聞かせる。 ○ 生徒の感想から話し合いの場面を確認する。 ○ 夢を失った思い込みや喪失感や無力感から、深く物事を考えられない心情をつかませる。 ○ 様々な思考がある中で、仕事の相手や周りの都合といった見えなくなっていた多面的な思考があったことに気づかせる。 ○ 友達の意見を激しく否定しないように、気を付けさせる。 ○ 責任ある判断を見失わないためには、どういう見方や考え方をしていくとよいかを考えさせる。 ○ 新たな思考に気づき、実践していこうとする心情を価値付けるようにする。
終末	5 教師の話聞く	○ 余韻をもたせて終わる。

道徳学習指導本時案

平成24年 2月 6日(水曜日) 第5校時 場所 1年 3組 教室

教諭 野依 克己

(1) 主題 誇りある生き方 3-(3)

(2) 資料 「ポトマック川のできごと」 (出典) あかつき TV

(3) ねらい 人間には、弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることに喜びを見いだせるように努める。崇高な生き方について考える。

(4) テーマ (生徒の実態をふまえた内容項目の工夫)

東日本大震災の被災地を訪れ、実際に自然災害の爪痕を目にした。命について考える授業をしたいと思った。命の大切さや極限の状況に追い込まれた時に人がとるべき行動や魂の崇高な気高さについて生徒に考えさせたいと切望した。

(5) 準備

生徒 ・筆記用具 教師 ・ DVD (映像) 文章資料 パネル ワークシート

(6) 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 資料の内容の確認をする <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">勇者とはどんな、人ですか</div>	○ 資料の意識づけを図る。
展開	自分の考えを発表する。 ・勇気のある人。・ヒーロー。 2 資料を見る。 3 印象に残った部分を発表する。 4 アーランド・ウィリアムさんの行動について考え、発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">アーランド・ウィリアムさんの行動についてどう思いますか</div>	○ 生き方について考える。 ○ ドキュメント映像、読み物資料から当時の状況や人物の心情について理解させる。 ○ 資料から、人間の精神や行動への感動を捉えさせる。 ○ アーランド・ウィリアムさんのとった行動や心情について考え、生徒の意見を取りあげる。
	5 人々の間で語り継がれている理由について考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">アーランド・ウィリアムさんの行為が人々の間で語り継がれているのはどうしてだろうか。</div>	○ 理由について、グループで相談して考えをまとめ発表させる。
終末	6 生き方について考えたことをまとめる。ワークシートに考えを記入する。	○ 資料から感じたこと、自分とのかかわりについてふまえ、自分はどうのような生き方をしていきたいのか考えさせる。

道徳学習指導本時案

平成24年 2月 6日(水曜日) 第5校時 場所 1年 4組 教室

教諭 藤武 千絵

(1) 主題 くじけない心 1-(2)

(2) 資料 「木箱の中の鉛筆たち」 (出典) 自分を見つめる(あかつき)

(3) ねらい より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつことができるようにする。

(4) テーマ (生徒の実態をふまえた内容項目の工夫)

中学生になり、そろそろ一年が経とうとしているが、理想と現実のギャップを感じつつある生徒が増えてきているように感じる。夢や目標に向けて努力を続ける事の大切さを知り、自己を振り返るとともに、自信を持って今後の生活を送れるよう指導をしていく。

(5) 準備

生徒 … 道徳ファイル

教師 … 読み物資料、ワークシート

(6) 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 山下清、エジソン、ウォルト・ディズニー、の幼少時代のエピソードを聞く。 誰でしょう。	○ 画面を見せて生徒の興味をひきつける。 ○ 主題に結びつける声かけをする。 ・ 3人はそれぞれ個性を伸ばし夢を実現させた人です。今日は、夢の実現のために大切なことを考えていきましょう。
展開	2 資料「木箱の中の鉛筆たち」を読む。 ○ワークシートに記入する。「木箱の中の鉛筆たち」を見たとき筆者はどんな気持ちでしたか。 「才能を作りなさい」と言った父親が私に伝えたかったことは、どんなことでしょうか。	○ 作者についてふれる
	3 現実で、くじけそうなとき、あきらめかけたときに、どうするかを考える。	○ 才能を作るために必要なことなどを考えさせ、父親の思いを探っていくよう促す。 ○ 導入で触れた人物たちは、くじけそうになっても、あきらめなかったのは、どうしてか考えさせる。
終末	4 夢をあきらめなかった有名人の話 を聞く。	○ 生徒が興味を持ちそうな人物を取り上げる。

5 教師の話聞く。	○ 静かに話を聞いて余韻を残して終わる。
-----------	----------------------

道徳学習指導本時案

平成24年 2月 6日(水曜日) 第5校時 場所 1年5組 教室

教諭 市川 裕美

(1) 主題 集団生活の向上 4—(4)

(2) 資料 「春のうらの声変わり」(出典)「きみがいちばんひかるとき① 中学道徳」

出版社：光村図書

(3) ねらい

資料を通して、それぞれの個性を生かし協力することの大切さを実感し、集団生活を向上させようとする意識を育てる。

(4) テーマ(生徒の実態を踏まえた内容項目の工夫)

本校の道徳意識調査において、「集団生活の向上」の項目について意識が低いことがうかがえる。

生徒達が集団の中で特性を生かしながら協力していくことは重要なことである。本授業では、資料を読むことを通して集団生活について考えるとともに、意見をうまくいえない生徒も意見を交換し合えるように班活動を取り入れ、様々な意見に触れられるようにする。

(5) 準備

生徒 … 筆記用具

教師 … ワークシート・画用紙(切ったもの)・ふせん

(6) 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 自分の得意なことは何かを考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 60%;">得意なことを生かすことについて考えよう</div>	○得意なことについて考えるきっかけにする。

展 開	2 資料を読む。	○紙芝居を見せながら読む。
	3 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新沢くんは何が得意なのでしょう。</div> ・高い声で歌うこと。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">旗野さんは何が得意なのでしょう。</div> ・低い声で歌うこと。	○お互いの良いところを生かし、よりよいものを作り上げようとする姿勢が必要なのだということに気付かせる。 ○ワークシートに書かせ、発表させる。
終 末	4 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">「ぼく」が旗野さんを「ベストパートナーだ」と思ったのはなぜでしょう。</div> ・自分が苦手な低いパートを歌ってくれるから。 ・自分は高いパートを歌えるから。	○班活動をさせ、班のメンバー全員のいいところを一つずつ書く。 ○自分たちの得意な点を改めて見つめなおすきっかけにする。
	5 自分たちの良いところを生かしているかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">同じ班の人のいいところをふせんに書いてみましょう。</div>	○それぞれの良いところをクラスの人のために生かすことが大切だということに気付かせる。
	6 詩を聞く。	○いいところは誰にでもあり、それをみんなのために生かすことの重要性を考えさせる。
	7 感想を書かせる。	

道徳学習指導本時案

平成24年 2月 6日(水曜日) 第5校時 場所 1年 6組 教室

講師 田中 祐介

(1) 主題 よりよい社会の実現

(2) 資料 「地下鉄で」 (出典) あかつき

(3) ねらい よりよい社会の実現は一人ひとりの行動によって成り立つことを知り、積極的にかかわろうとする実践意欲を培う。

(4) テーマ (生徒の実態をふまえた内容項目の工夫)

最近、若者のマナーやモラルが低下してきているという現状がある。その中で、一人ひとりが社会全体に目を向け、お互いが安心して生活できる社会をつくっていかうとする社会連帯の精神を学ばせたい。本時では公共の交通機関という、普段の生活に近い内容を通して、モラルある行動への関心や意欲・自覚を持たせたい。

(5) 準備

生徒 … 道徳ファイル

教師 … 資料、ワークシート

(6) 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 公共の交通機関での、ルール・マナーについて話をしていく。	○ 優先席のマークなどを使い、公共の交通機関でのルールやマナーについて興味を持たせる。
展開	2 資料（前半）を読み、この後の展開や自分ならどうするかを考える。	○ 公共の交通機関で、普段の自分がどのような行動をとっているか。それが周りの迷惑になっていないかなどを考えさせる。
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○ 彼女達の行動についてどう思いますか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考え、ワークシート記入。 ・班でまとめて、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 班活動を取り入れ、ワークシートを見せ合う ○ 机間指導を行い、自分の意見を考えているか、班で話し合いができているかを確認していく。
開	3 資料（後半）を聞いて、考える。	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○ 筆者が感じた「少女たちのなかにある美しさ」とは何でしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考え、ワークシートに記入。 ・班でまとめて、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートに記入し、班で見せ合う。 ○ 班活動を取り入れ、いろいろな意見を出させる。
終末	4 今までの自分の行動を振り返り、よりよい社会の実現のために、どういう行動をしていくかを考える。	○ よりよい社会の実現のために、モラルやマナーの大切さについて気づかせる。
	5 教師の経験談を聞く	○ 経験談を含めた話をし、今後の活動と関連付けをしていく。

・他の教育活動との関連

道徳の時間と他の挙育活動との関連を図ろうとした中で、「弁当の日」での取組を紹介します。

弁当の日の取組は、総合的な学習の時間と教科（家庭科）の時間に行われた。全クラスで、弁当の日の取組と関連付けた道徳の時間が設定されました。

弁当の日の取組とは、生徒が弁当の食材を自ら準備し、弁当づくりを行う活動である。



運付のための授業では、主題を



個性伸長として、資料「こげこげ弁当」から生徒たちが自ら作った弁当づくりの体験を想起させながら、お互いの個性を尊重し、自分の個性を伸ばそうとする心情を育てることをねらいとする授業を展開しました。



道徳の時間

(1) ねらい

人には様々な個性があることを知り、お互いの個性を尊重し、また自分の個性を伸ばそうとする心情を養う。

(2) 準備

生徒 ・ 道徳ファイル 家庭科ファイル

教師 ・ 資料Ⅰ・Ⅱ プレゼン映像

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点
導 入	1 自分たちの弁当の写真を見て、ワークシートにタイトルを書き写す。	○弁当の日を思い出させる。
展 開	2 資料Ⅰ「こげこげ弁当」の弁当の絵を見て、前半を読み、主人公がなぜうれしいのかを話し合う。	○弁当の絵を見て、名前を考えさせる。 ○なぜ主人公は、焦げた弁当がうれしいのか考えさせる。 ○発問の仕方(2. 5往復、友だちの考え等)を工夫する。
	3 後半を読み、主人公の弁当への思いをワークシートに書き、話し合う。	○なぜ作者は、「独立宣言弁当」というタイトルにしたのかを考えさせる。
	4 弁当作りをしてみても自分の思いをワークシートに書く。	○弁当作りをしてみても思ったことを書かせ、自己を振り返らせる。
	5 グループ(班)でお互いのワークシートを見せあい、発表する。	○班のなかで、発表させたり、回し読みさせ、友だちと交流させる。 ○弁当づくりにはいろいろな思いがあることを友だちのワークシートや発表から気づかせる。
	6 資料Ⅱを見ながら、自分や友だちのよさについて考える。	○資料Ⅱの内容を問いかけていく。 ○自分や友達の良さにさらに具体的に気づかせる。
	7 タイトルを再考して、ワークシートにその理由を書き、発表する。 「気づいた自分の個性をタイトルにあらわしてみる」	○資料Ⅰの主人公の弁当タイトルが「こげこげ」から「独立宣言」へと変わったことを参考にさせる。 ○心情をあらわしたタイトルの書けた生徒を指名し、吹き出し黒板で新たなタイトルを発表させ、交流活動をさら

		にすすめる。
終末	8 個性についての教師の説話を聞き、詩「トマトとメロン」を聞く。	○個性について考えさせる。 ○他人と比較するではなく、自分の個性に気づき、友達の個性を認めることが大切であることを考えさせる。 ○教師が詩を朗読し、BGMで余韻を残す。

・**研究発表会及び講演会** 2/6

協議会

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 開会のあいさつ | 校長 米丸 利恵子 |
| 2. 来賓あいさつ | 北九州市教育委員会 |
| 3. 研究実践等について
質疑応答 | 道徳主任 上赤 義人 |
| 4. 講 評 | 教育委員会指導第一課 指導主事 村中 浩二 様 |
| 5. 閉会のあいさつ | 教 頭 喜久田 晋 |

講演会

- | | |
|------------|---|
| 1. 講 師 紹 介 | 道徳主任 上赤 義人 |
| 2. 講 演 | 「道徳の時間を中心としたこれからの道徳教育」
教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官
澤田 浩一 様 |
| 3. 謝 辞 | 教 頭 喜久田 晋 |



・**道徳的環境の充実**

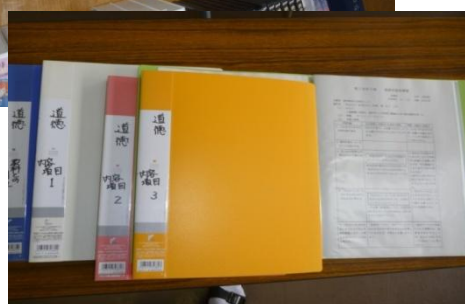
①道徳的価値に気づかせる掲示物

校内環境づくりとして、授業で活用した道徳資料を教室に掲示したり、「こころのノート」のページや本校の先生方から募集した生徒に伝えたい言葉等をパネル化して校内に掲示したりしました。



②資料等の蓄積

資料等の蓄積として、全生徒に道徳ファイルをもたせ、道徳の時間に活用したワークシートや自分の感想などをファイルに綴じていき、学期や学年末などの振り返り等に活用しています。また、教師が、公開授業や校内研修等で作りあげた指導案や読み物資料・視覚的資料を蓄積していき、新たな授業づくりのヒントにしなから、指導案等の蓄積もすすめています。



③過去5年間、本校で公開実践された道徳学習指導案 内容項目別

内容項目	主題	資料	備考
1 - (1)	習慣から生まれるもの	土曜日の朝に「自分をのぼす」	
1 - (2)	目標にむかう意志	やさしいうそ「自分をのぼす」	
	あきらめない心 くじけない心	「木箱の中の鉛筆たち」	
1 - (3)	誰も見ていない	「さわやかな青年」 読売新聞	
	誠実と責任	父の一言 あかつき	
1 - (4)	今をどう生きるか	「明日がくる」朝日中学生ウィークリー 詩「わたしのいもうと」松谷みよこ 等	
	夢を意識して生きる	「いのちのおはなし」	
	真理・理想の追求	幸せって、なんだろう	
	個性伸長	弁当の日がやってきた「こげこげ弁当」 「ぼくの性格をつくった友人」 「自分の個性に自信をもつ」	
2 - (1)	礼儀	「半分おとな 半分こども」	
2 - (2)	言葉のチカラ	アニメに見られる名言 等	
	思いやり	「光と影～見えない相手から～」	

	人間愛	「初女さんのおむすび」 佐藤初女	
	優しい心	「おばあちゃんの指定席」	
2 - (3)	試練が育てる友情	ライバル NHKラジオ学校放送	
	真の友情	「勝利への坂道」	
	友情	「ないた あかおに」	
2 - (4)			
2 - (5)	個性の尊重	「たった ひとりのきみ」 マックス・ルケード	
	「ちがいを理解し認めあえる関係	「黄色いカラス」 みなみらんぼう	
2 - (6)	感謝の心	日本一短い「愛」の手紙 等	
	家族への感謝	天使の舞い降りた朝「自分をのぼす」	
	「あいさつ」の意味	心のホットステーション	
	感謝	「ありがとう」に心を込めて	
	感謝のこころ	心のアンテナ	
3 - (1)	命の尊さ	「千の風になって」 新井 満	
	生命の尊さ	ドナーカード 「自分をのぼす」	
	生命の尊重	いのちをいただく 内田美智子	
	かけがいのない命	「飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ」	
	生命	血液型の組み合わせプリント	理科生物 のふえ方
3 - (2)	自然愛護と生命尊重	「奇跡のリンゴ」 石川拓治 「植物と話ができる！」 小原田泰久	
	自然への畏敬	一枚の葉 「自分をのぼす」	
3 - (3)	人間の本当の強さ	「しばてん」 田島征三	
	生き方について	「償い」 さだまさし	
	『あなた』のことが好きですか？	「命の授業」 腰塚勇人	
	生きる喜び	「くじけないで」	
	誇りある生き方	ポトマック川の出来事 あかつき	
4 - (1)	秩序ときまり	二通の手紙 東京書籍	
4 - (2)	よりよい社会の実現	地下鉄で あかつき	
4 - (3)	差別や偏見のない社会	「自分以下」を求める心 「道しるべ」	
4 - (4)	役割の自覚	監督がくれた金メダル	
	集団生活の向上	春うららの声変わり 光村図書	
4 - (5)	清掃活動	心を磨く清掃活動「教室の四季」	
	トイレの神様	「便所掃除」 濱口国雄	

	奉仕の精神	「ゴミ仲間」	
	はたらくということ	「午前一時四十分」	
4－(6)	家族愛	「子どもによる子どものための権利条約」小口尚子・福岡鮎美	家庭科 幼児の過 ごす場
4－(7)			
4－(8)			
4－(9)	愛国心	風の中の三重の塔 「心—いかにいきたらいいか—」	
	日本の伝統の継承と新しい文化の創造	ふで フェイスパウダーブラシ	社会科 伝統文化
4－(10)	世界の平和	20世紀の映像～世界は地獄を見た～そして「風に乗り、海を渡った魂」等	
	子どもの権利条約について考えよう	ユニセフホームページ 子どもの権利条約	
	もったいない～地球の一員としてなすべきこと～	「ケチは地球を救う」中学生作文 絵本「もったいないばあさん」	